みんなの文芸

中村琴江選　投稿数21句

万緑へ上棟の槌響き合う　三沢　眞下　杏子

（評）万緑は見渡す限り一面の緑のこと、みなぎる夏の生命感あふれる状態の中に上棟の槌音がこだましているのです、作者は二読でその景を巧みに表現されております。すっきりとした秀句です。梅雨寒しの句、作者は俳句を詠む心をもっておられます。明るく楽しく俳句を心の杖として詠むことで、その作品は、すべてご自身の宝物となります。ゆっくりと気持ちの伝わってくる秀句です。

家族無く訪う人も無く梅雨寒し　下日野沢　中村　八郎
羅の女将の民話よどみなし　皆野　市川　岳樹
片蔭に猫も顔拭く昼下がり　三沢　新井　民子
捥がれずに熟しきつたる実梅かな　皆野　引間　千鶴
色変へて朝が楽しき山紫陽花　皆野　村田ハツ代
蓮の葉に羽を休めて鬼やんま　下日野沢　新井　進

父の日の派手な祝ひにはにかみし　皆野　関根　助市
万緑や水なき沢に蟹動く　国神　藤原マキ子
夕空や茄子を愛でて水注ぐ　皆野　保科　従道
汗拭ひ宅配の人小走りに　皆野　大沼シズ子
サルビアやふれずに終えし君の口紅　三沢　新井　弘
はしの先つるりとにげるみょうがの子　皆野小四年　太幡琉美花

※短歌は全23作品を掲載します

伊豆に見ゆ雲に覆はる梅雨の富士守るが如く反射炉は立つ　皆野　打木　昭広
燕きてホームの軒に恋をして子宝多く働く燕　下日野沢　鈴木　キク
傾ぎけるトマト括りて吾が傘を俄仕立ての屋根代はりとす　三沢　新井　民子
人生を楽しく生きる作物に話しかけたり微笑みもれる　皆野　関根　助市
葉に隠れ日々成長の南瓜見に脇の畑に足運ぶ朝　下田野　新井　節子
校庭のヘチマの花だん草むしり良い友達とちょっと良いこと　皆野小四年　太幡琉美花
空梅雨で野菜畑が大ピンチ吊るしてみたい降れ降れ坊主　国神　平　八郎
いつか来る東南海の大地震訓練放送心に響く　上日野沢　四方田利男
あゝ無情欲する所に降らずして嫌いやと云う地所に又行く　皆野　戸塚喜久雄
若き等の立志半ばでテロに消ゆ家族の悲痛無言の帰宅　皆野　根岸　詩子
桑の実を取り合った友訃報に幼いころの麦わら帽子　下日野沢　新井　進
道徳を生活の中に学びゆく曾孫の作文広報に載る　下日野沢　浅見　豊子
のど自慢ゲスト贔屓の演歌歌手川の流れにこの世を例ふ　皆野　引間　万亀
月々に戴く誕生祝い食毎月祝う老の幸せ　下日野沢　中村　八郎
大樹にはまたたび絡み花のごと水潜寺よりシャッターをきる　国神　藤原マキ子
逃げ水のように消えては浮かび来る今は空家の父母の居た家　三沢　鈴木　貞恵
山の宿喜寿を祝いし同窓会昔し話しに笑いが絶えず　皆野　村田ハツ代
編笠をたよりに歩みゆく遍路炎暑の道に前のみ向けり　皆野　市川　岳樹
黒髪を束ねし過去のなつかしく老いて真白き髪をいとしむ　皆野　新井　愛子
露含くみ朝日輝よふ七変化明日は何色待つも楽しき　三沢　新井　叶子
ポピーの里きょうは総出で種を採るきれいだったと語り合いっつ　三沢　眞下　杏子
人々の救かり願う祈願水天に届けと真心込めて　皆野　保科　従道
紫陽花や大地の心美の山咲きそれぞれちがふ彩美事なり　三沢　新井　弘延

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着　**1人1句、1首**に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう

有那ちゃん
国神区
黒沢　和也さん
奈保美さん

いつもニコニコ顔の有那。
笑顔の素敵な女の子になってね。

児童の見守り放送

皆野小6年
矢野　萌花さん

今月の題字

皆野中3年
磯田　絵麻さん

※満1歳の赤ちゃんを募集します。9月号の締め切りは、8月10日(水)まで。ホームページからも応募できます。